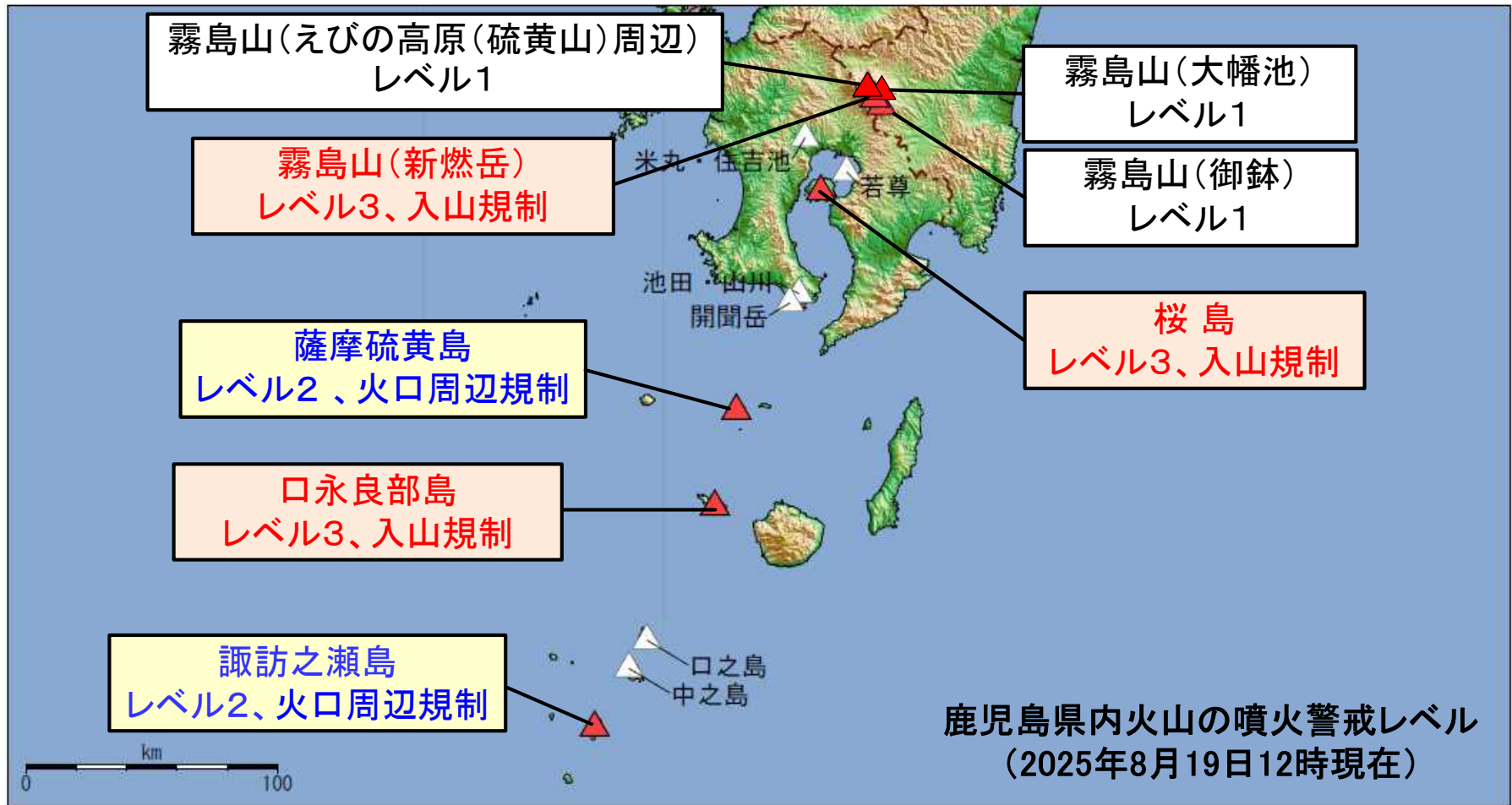


# 鹿児島県の火山活動概況

2025年7月～2025年8月14日

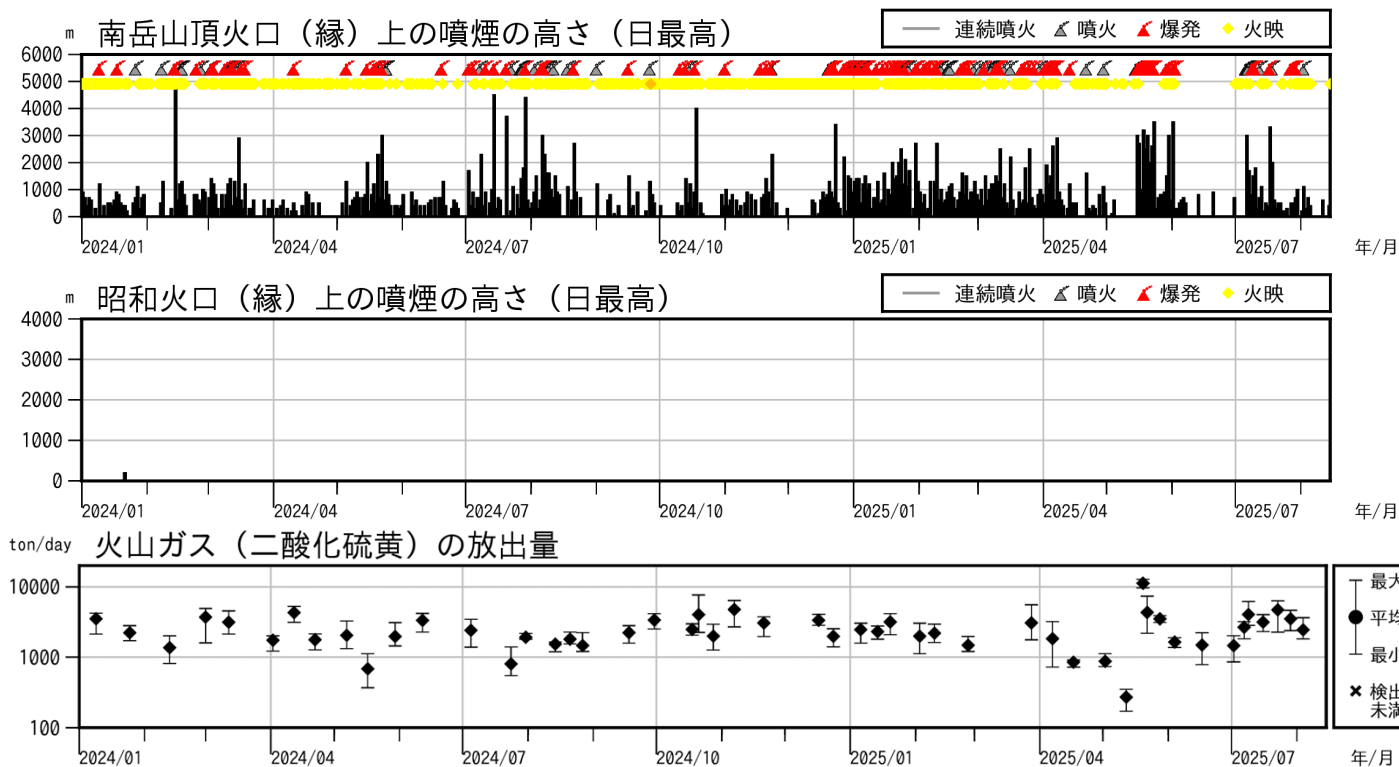


# 桜島 噴火警戒レベル3（入山規制）

警戒範囲：火口から概ね2km  
(2022年7月27日20時00分発表)

## 7月以降の主な状況

|      |                                                                                                                                                    |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 活動評価 | 始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態であり、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられる                                                           |
| 噴火活動 | <p>[南岳山頂火口]</p> <p>噴火回数 8月(14日まで):1回（うち爆発:0回） 7月:16回（うち爆発:8回）</p> <p>7月17日13時28分の爆発：噴煙の高さは火口上3300m、大きな噴石は5合目まで飛散</p> <p>[昭和火口]（ごく小規模含め）噴火は発生せず</p> |
| 火山ガス | 二酸化硫黄の放出量は1日あたり平均1500～4700トンと非常に多い状態                                                                                                               |



桜島 噴煙・火山ガス活動推移(2024年1月～2025年8月14日)

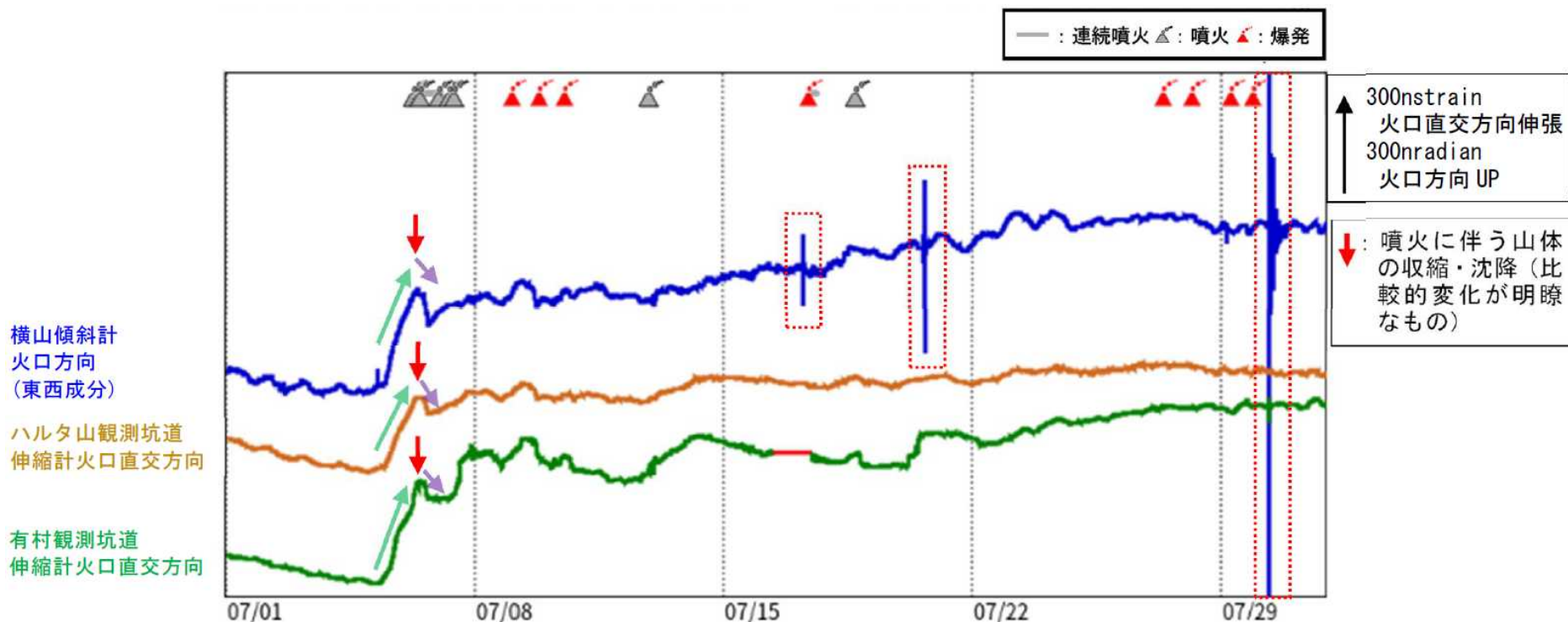
# 桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km  
(2022年7月27日20時00分発表)

## 7月以降の主な状況

傾斜・伸縮

7月5日から6日にかけて山体膨張（隆起）が観測された（緑矢印）。6日09時33分の噴火（赤矢印）により山体のわずかな収縮（沈降）を観測（紫矢印）。その後特段の変化は認められない。



## 傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況（2025年7月1日～7月31日）

※各観測点のデータは潮汐補正を行っている。

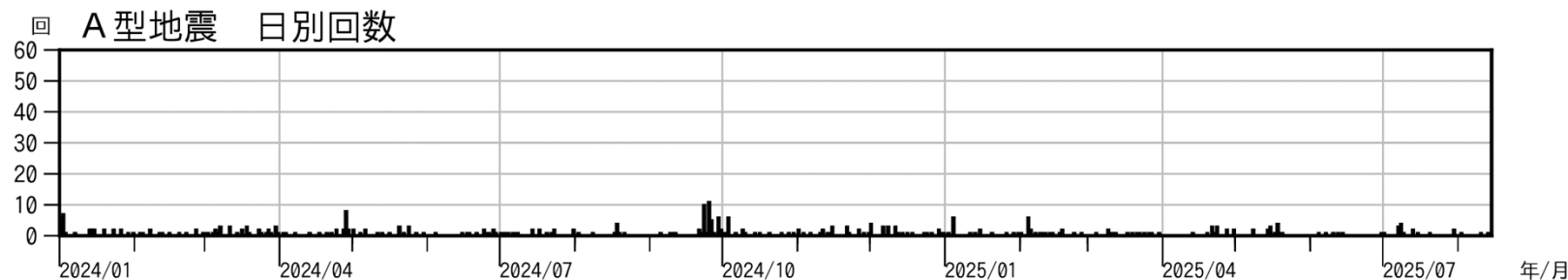
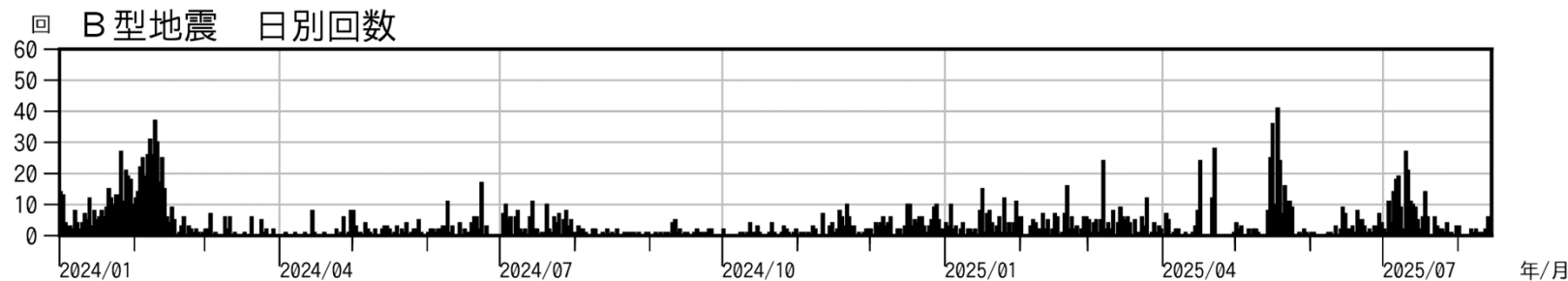
※図の作成には、大隅河川国道事務所の有村観測坑道及び京都大学のハルタ山観測坑道の観測データを使用している。

※赤破線内の変化は遠地地震による影響と考えられる。

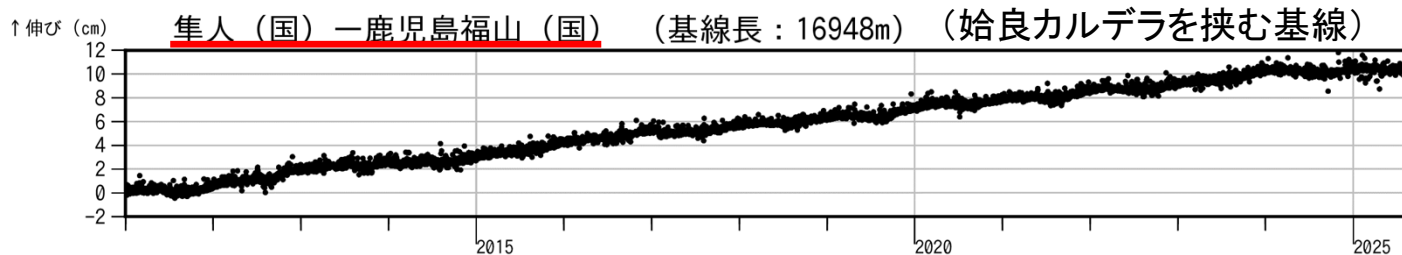
# 桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km  
(2022年7月27日20時00分発表)

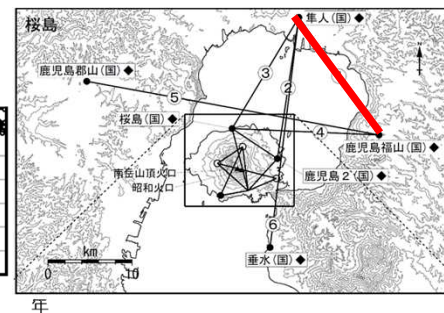
|         | 7月以降の主な状況                          |
|---------|------------------------------------|
| 震動現象    | 火山性地震は少ない状態で経過                     |
| G N S S | 長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる |



桜島 地震活動推移(2024年1月~2025年8月14日)



桜島 GNSS基線長変化図(2011年1月~2025年8月14日)

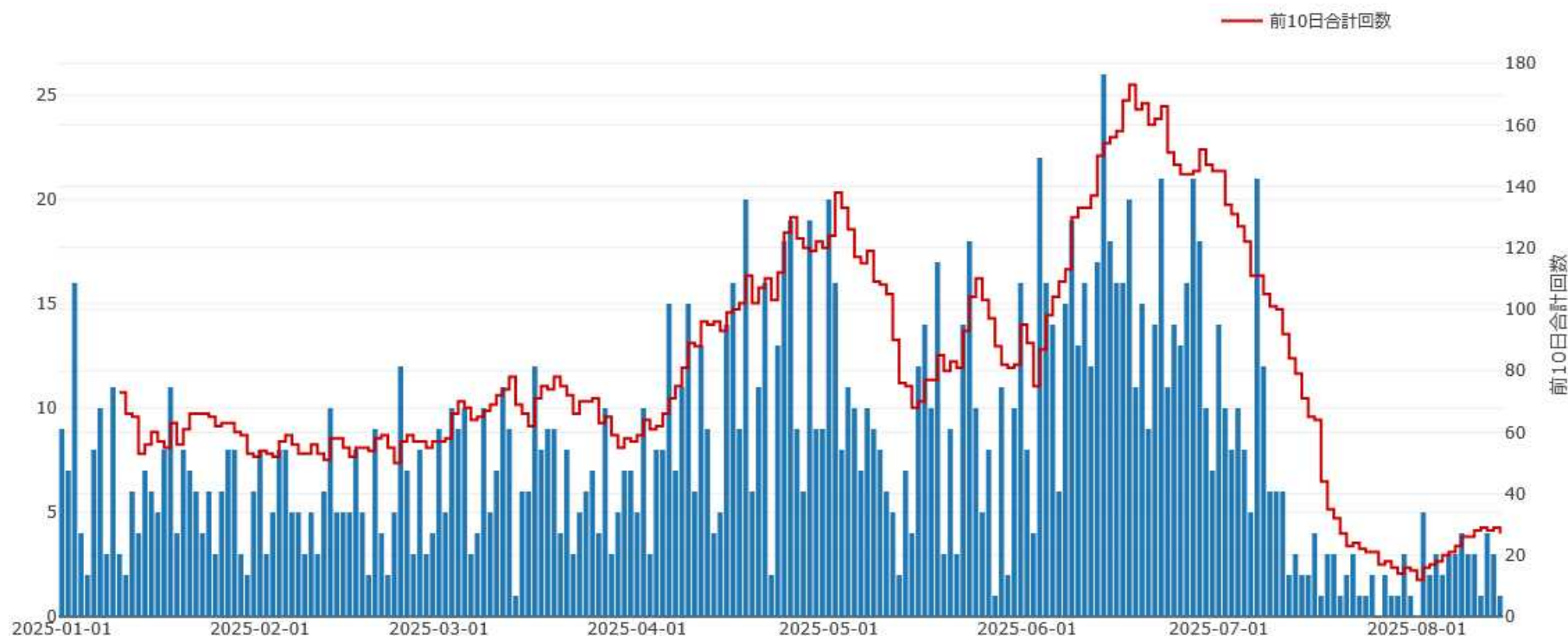


# 口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲:新岳・古岳火口から2km、西側は海岸まで  
(2025年6月11日21時00分発表)

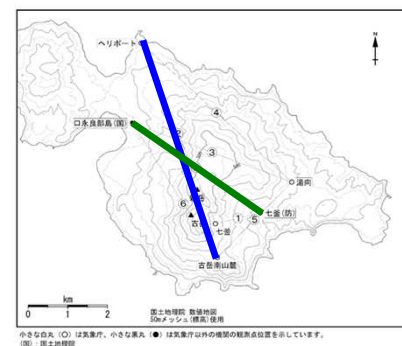
## 7月以降の主な状況

|      |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| 活動評価 | 中長期的に火山活動が高まった状態、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒 |
| 震動現象 | 4月から地震活動が活発化したが、7月から地震回数は減少し少ない状態で経過。         |



口永良部島 火山性地震日別回数(2025年1月～2025年8月14日)

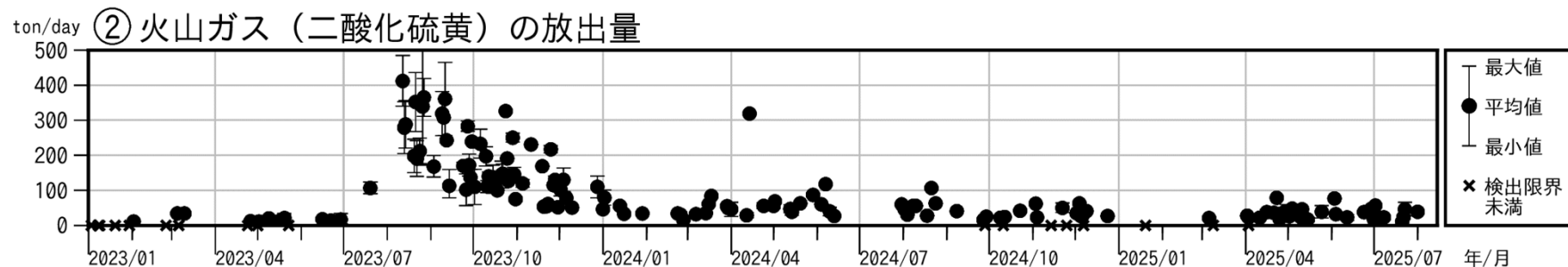
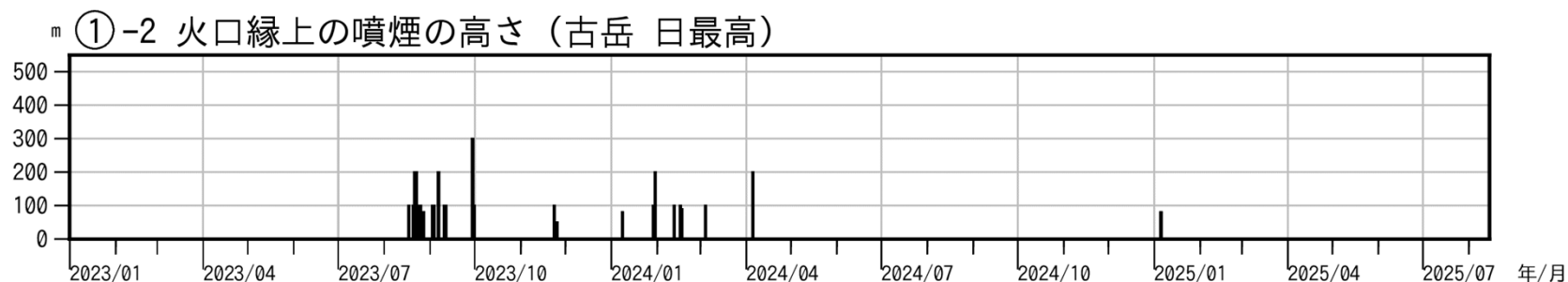
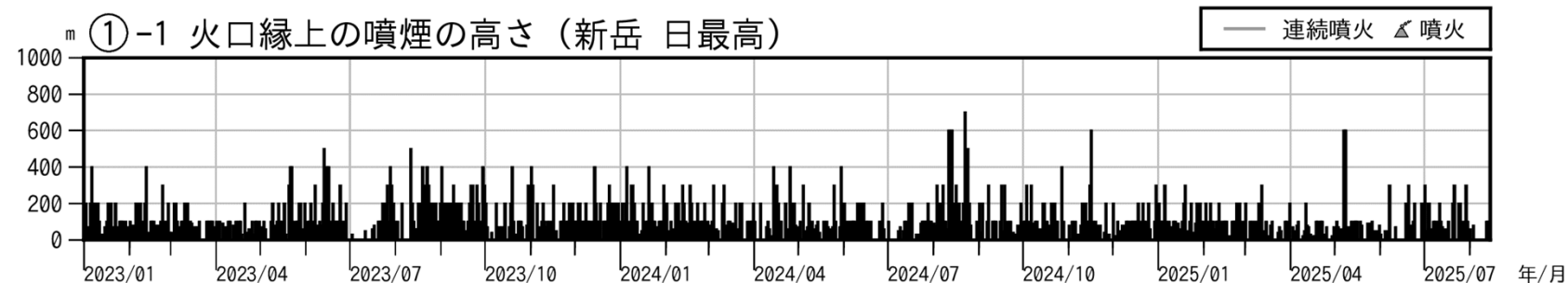
# G N S S



警戒範囲:新岳・古岳火口から2km、西側は海岸まで  
口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制) (2025年6月11日21時00分発表)

7月以降の主な状況

|      |                                                            |
|------|------------------------------------------------------------|
| 噴煙活動 | [新岳火口] 白色の噴煙を観測 最高300m<br>[古岳火口] 監視カメラでは火口縁を越える噴煙は観測されていない |
| 火山ガス | 二酸化硫黄の放出量は1日あたり平均10~60トンと少ない状態で経過                          |



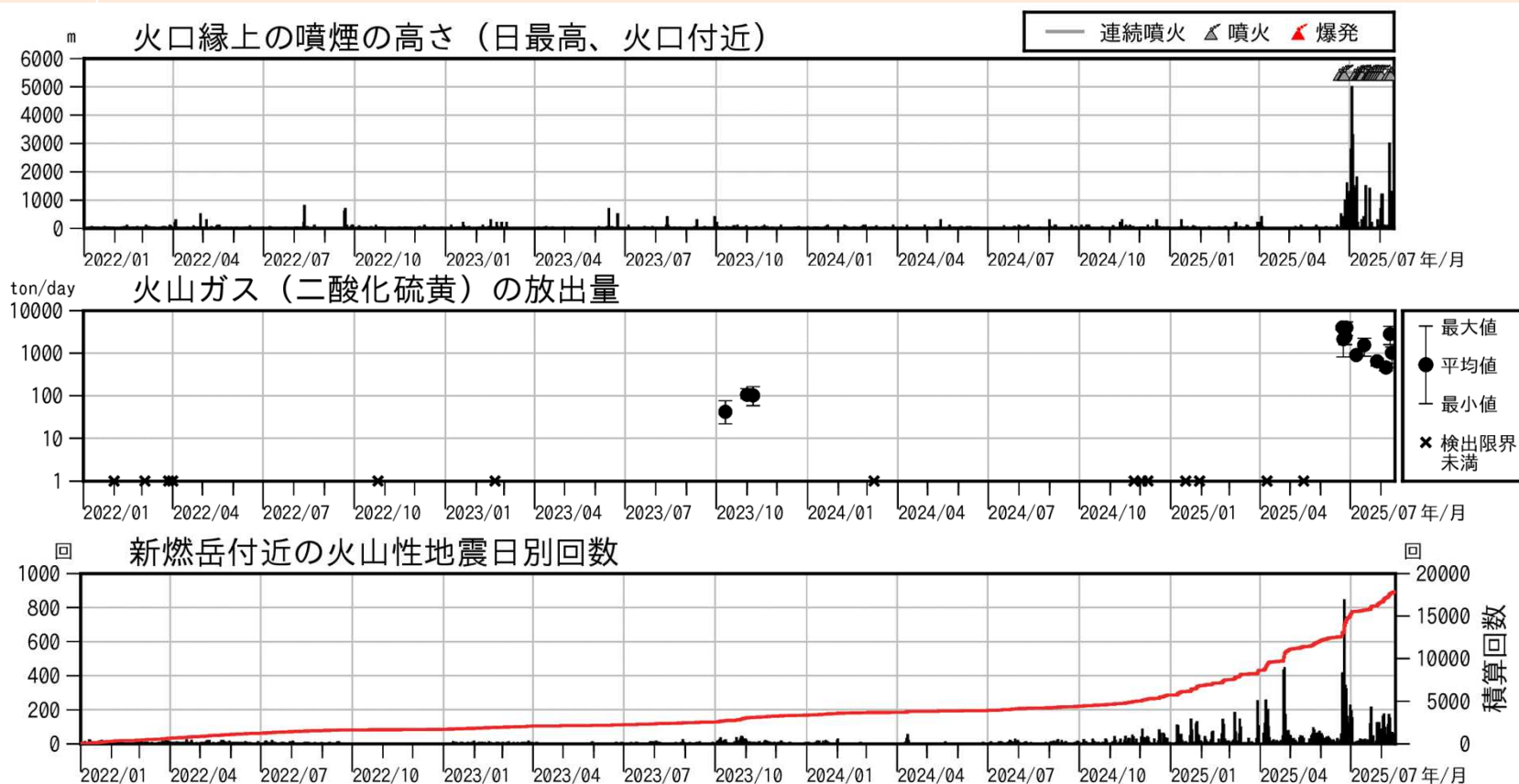
口永良部島 活動経過図(2023年1月~2025年8月14日)

# 新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね3km  
(2025年6月23日18時30分発表)

## 7月以降の主な状況

|      |                                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 活動評価 | 火山活動は活発な状態で経過、新燃岳火口から概ね3kmの範囲では大きな噴石などに警戒                                            |
| 噴火活動 | 6月下旬から噴火活動が継続、7月3日13時49分の噴火で噴煙が火口上5000mまで上がる                                         |
| 火山ガス | 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり平均500～2800トンと概ね多い状態で経過                                          |
| 震動現象 | 2024年10月下旬頃から火口直下を震源とする火山性地震が増減を繰り返し、多い状態で経過<br>7月頃から噴火活動の活発化とともに継続時間の長い火山性微動を断続的に観測 |



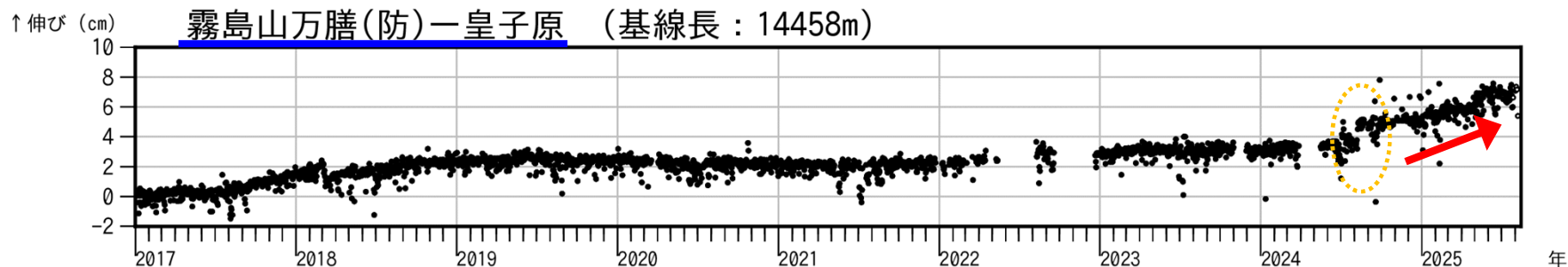
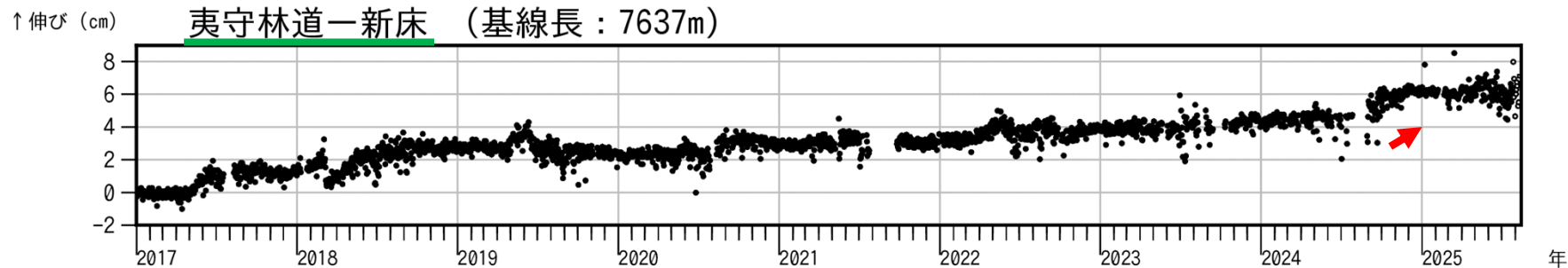
新燃岳 火山活動経過図(2022年1月～2025年8月14日)

# 新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね3km  
(2025年6月23日18時30分発表)

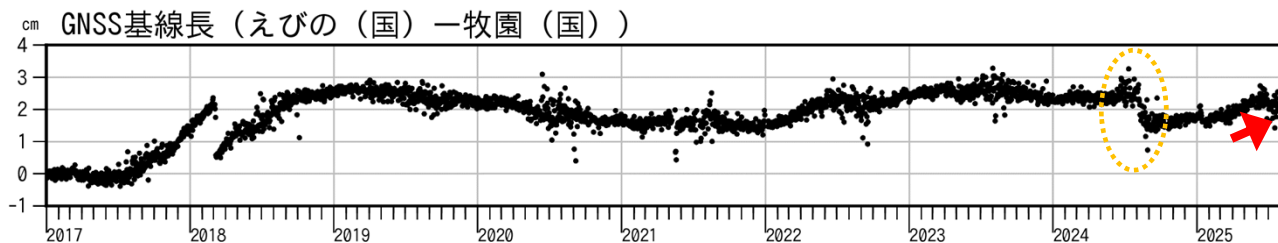
## 7月以降の主な状況

**GNSS** 霧島山を挟む一部の基線で、2024年11月頃から新燃岳付近の地下、2025年3月頃から霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていたが、7月上旬頃からはいずれも停滞。



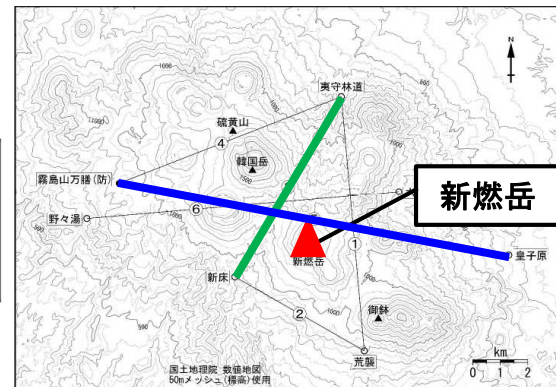
新燃岳付近 GNSS 連続観測による基線長変化(2017年1月～2025年8月14日)

※橙色の破線は2024年8月8日の日向灘の地震による変動を示す



霧島山 GNSS 連続観測による基線長変化(2017年1月～2025年8月14日)

※橙色の破線は2024年8月8日の日向灘の地震による変動を示す

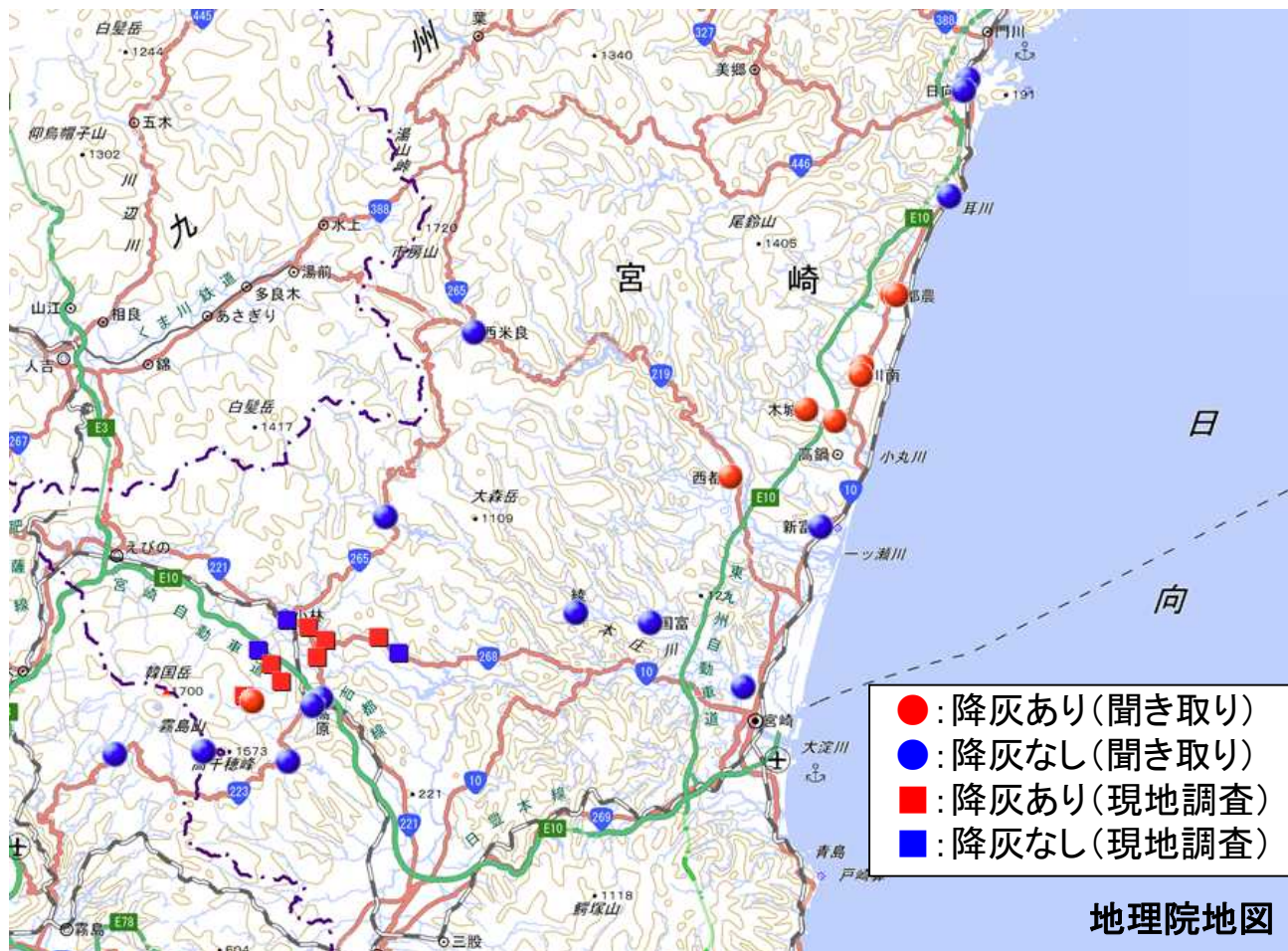


# 新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね3km  
(2025年6月23日18時30分発表)

## 7月以降の主な状況

降灰調査 8月10日05時23分の噴火で噴煙が火口縁上3000m以上に上がり、北東に流れた。同日実施した降灰調査では、宮崎県小林市、高原町、西都市、高鍋町、木城町、川南町、都農町の広い範囲で降灰を確認。小林市及び高原町の一部では、道路の白線が見えなくなるほどの多量の降灰を確認した。



新燃岳 降灰分布図(2025年8月10日)